

正 誤 表

『シンプル理学療法学シリーズ 神経筋障害理学療法学テキスト [Web 動画付] (第 4 版 第 1 刷)

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
67	図5-5 図中の計算式	$\text{FIM-X (発症後X日のFIM予測値)} = \text{FIM-A} + (\text{FIM-B} - \text{FIM-A} \cdot \frac{\text{A}}{\text{Y}_1}) \times \text{Y}_2$	$\text{FIM-X (発症後X日のFIM予測値)} = \text{FIM-A} + [(\text{FIM-B} - \text{FIM-A}) / \text{Y}_1] \times \text{Y}_2$
67	図5-5 脚注 下から3～2行目	発症後 <u>150</u> 日目の運動FIM予測値を求める。	発症後 <u>120</u> 日目の運動FIM予測値を求める。
67	図5-5 脚注 下から2行目	運動FIM- <u>150</u> = <u>50</u> + (50－40/0.693) × 1.386= <u>70.0</u> (点)	運動FIM- <u>120</u> = <u>40</u> + [(50－40/0.693)] × 1.386= <u>60.0</u> (点)
67	図5-5 脚注 下から1行目	<u>150</u> 日目の運動 FIM は <u>70</u> 点と予測できる。	<u>120</u> 日目の運動FIMは <u>60</u> 点と予測できる。
67	図5-6 脚注 1行目	図 5-5 で求めた運動 FIM の予測値 70 点のときの	運動FIMの予測値70点のときの

2025 年 7 月 11 日

株式会社南江堂